

茨城、栃木の農産物安全管理体制を学ぶ ～途上国の政府関係者が卸売市場や干しいも生産会社を視察～

アジア・アフリカ・東欧などの途上国から農産物・食品の安全対策を担当する行政官 13 名が来日し、日本の農産物の安全管理体制を視察します。

途上国では一般的に生産・加工技術が乏しく、流通インフラが整備されていないほか、残留物質等検査能力も低いと、農産物の安全性に関する様々な課題が存在します。このような状況を改善すべく、途上国の政府関係者に日本の農産物安全管理体制について包括的に学んでもらうため、JICA では「農産物の安全管理体制強化」研修を実施しております。この研修の一環として、茨城県、栃木県内の優れた安全管理体制を見学してもらうため、卸売市場や干しいも生産会社、JAや直売所を訪問させて頂くことになりました。



昨年の研修の様子（卸売市場、いちご観光農園訪問）

取材候補日および取材場所：

取材候補日	時間	訪問場所
1月24日(火)	10:00～12:00	栃木県庁(栃木県農政部)
	14:00～16:00	JAうつのみや
	16:00～16:30	道の駅うつのみや ろまんちっく村
1月31日(火)	9:00～11:00	土浦地方卸売市場
	13:30～16:00	(株)照沼勝一商店(東海村)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 研修業務課 担当者名：マゴイ 幸枝
 TEL：029-838-1744 FAX：029-838-1776
 E-mail：Mcgoey.Sachie@jica.go.jp